

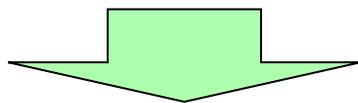
# 稚内市(北海道ブロック)

【計画期間 21年6月～25年3月】

- ・江戸期 : 国防上の北の要衝として開拓が入る
- ・明治～戦前 : 豊かな水産資源による沖合底曳漁の基地
- ・戦後～ : 水産・酪農・観光を核として繁栄

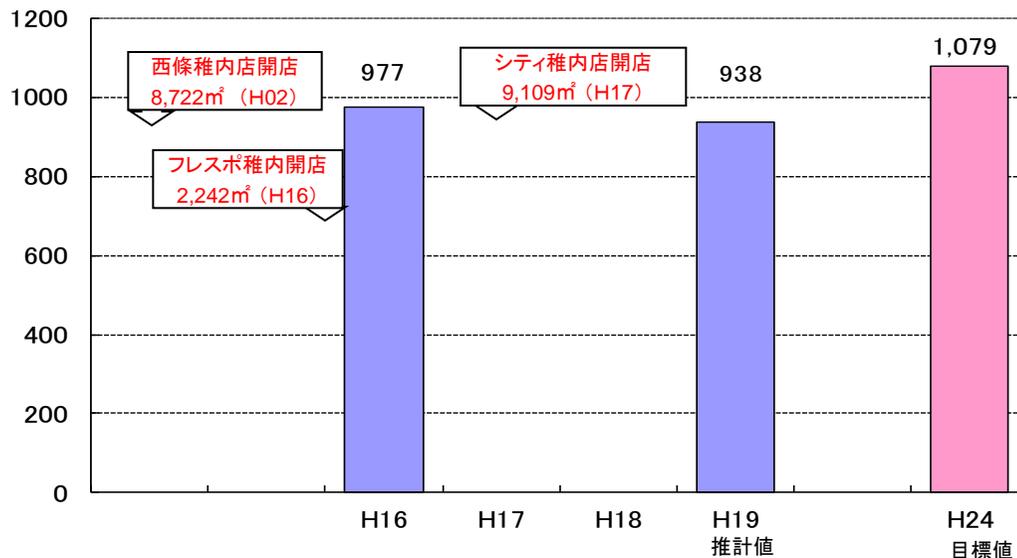
○昭和52年の200海里規制による沖合底引き漁業の漁獲量の激減

○市街地の拡大による人口の減少や、郊外大型店の出店等により商業機能が低下



| 目 標           | 指 標          | 現況値           | 目標値 (H24) |
|---------------|--------------|---------------|-----------|
| 街歩きが楽しいマチ     | 歩行者通行量       | 938人(H19推計)   | 1,079人    |
| 住みたい・住み続けたいマチ | 定住人口         | 2,576人(H19)   | 2,584人    |
| 人が集まるマチ       | 主要施設入込客数(年間) | 240,900人(H19) | 427,100人  |

【歩行者通行量の推移と数値目標(休日・平日平均、3地点平均)】



○中心市街地居住者数

H15: 2,907人

→ H20 : 2,484人(▲ 14.6%)

○中心市街地店舗数

H9: 209

→ H14 : 168(▲ 19.6%)

■ 駅前に商業・交通の核施設を整備し、中心商店街への人の流れをつくること等で賑わい創出を目指す。

⇒ 主要事業: ①稚内駅前地区市街地再開発事業(賑わい再生拠点) ④駅前広場整備事業 など

■ 減少する居住人口を食い止め、居住人口の回復を目指す。

⇒ 主要事業: ③稚内駅前地区市街地再開発事業(高齢者向け賃貸住宅)、⑤まちなか団地整備事業 など

■ 駅前に地域コミュニティ形成拠点を整備し、まちなか集客の向上を図る。

⇒ 主要事業: ②稚内駅前地区市街地再開発事業(地域交流センター・賑わい再生拠点) など

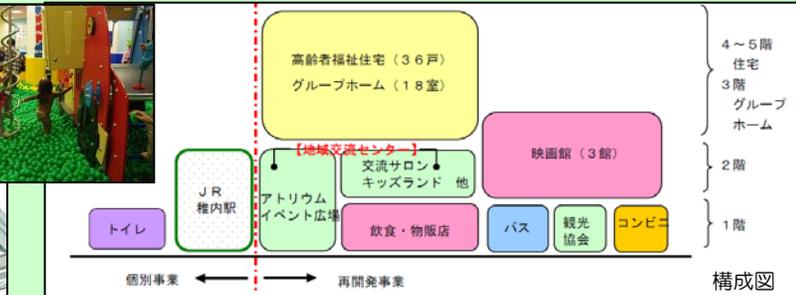
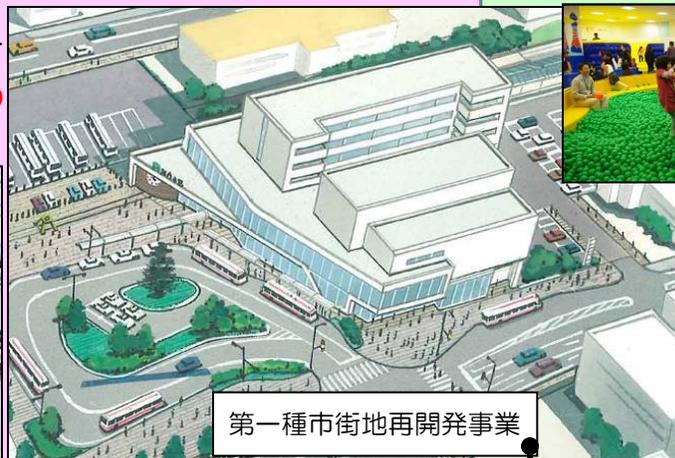
# 稚内市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 中心市街地の活性化“街歩きが楽しいマチ”

## マチ中のにぎわい創出“人が集まるマチ”

○稚内駅前地区第一種市街地再開発事業 にぎわい再生拠点整備 (①)  
再開発事業により**商業施設(飲食・物販)**、映画館、まちなか情報コーナー等を整備し、隣接する駐車場等と一体で「道の駅」としての機能を確保。**併せて、JR駅舎の再整備も実施。**

○稚内駅前地区第一種市街地再開発事業 地域交流センター整備 (②)  
**地域交流センター(多世代交流スペース、子育て支援施設(プレイセーター)等)整備**



## まちなか居住の推進“住みたい・住み続けたいマチ”

○駅前広場整備事業 (④)  
再開発事業に併せ、バス・タクシー・一般車のための**一体的な広場整備**を行い、分断されている「マチ」と「みなと」を結び歩行者動線を確保。

○商店街核店舗整備事業  
駅前地区の**老朽化した手狭な食品スーパーの建替え**により、利便性の高い店舗と、商店街と協同利用できる駐車場を整備。

○賑わいづくり創出事業  
**空店舗を活用し、健康をテーマに講習会等を行うチャリティショップ「Café健康身体塾」**や「稚内駅前動物園」、「ミニガーデン」、「アケド 3on3 (バスケット)」等の**イベント実施。**



○稚内駅前地区第一種市街地再開発事業 高齢者向け住宅整備 (③)  
高齢者向け賃貸住宅 (36戸) グループホーム (18室) 整備。  
○まちなか団地整備事業 (⑤) 借上方式の公営住宅 (40戸) 整備。

